学校通信　売布小だより

和と力　夏休み号

売布小ホームページ

令和6年（2024年）7月 19日　　宝塚市立売布小学校

校長　藤山　昌生

今日で１学期が終了しました。明日から暑くて長い夏休みが始まります。「あと何日」と残りの日数を数えるとき、「旅行まであと10日」のように、とても楽しみにしていることは、まだかまだかと待ち遠しくカウントダウンする一方で、「夏休みもあと3日・・・」と、終わりが近づくと切なくなることもあるのではないでしょうか。さて、「あと7日」となりました。そうです、フランスのパリを中心に開催される、「パリ2024オリンピック」の開会式までの日数です。パリで前回オリンピックが開催されたのが1924年なので、ちょうど100年ぶりになります。この大会では、32競技329種目でアスリートたちの活躍を目にすることでしょう。宝塚にゆかりのある選手も出場します。武器を持った争いではなく、高いレベルでの競い合いの中で、お互いを尊重し高め合う姿を楽しみ、声援をおくりたいと思います。

続いて、「あと40日」となりました。そうです、夏休みの残りの日数です。まだ始まってもいないのにとも思いますが、無為に過ごすとあっという間に過ぎてしまうのも事実です。今日の終業式では、「この夏〇〇やる!!」という話をしました。この〇〇には、一人ひとりがしっかりと自分自身で決めたことを入れてほしいと思います。もしそこに条件を付けるとするならば、夏休みに時間をかけてじっくりと取り組める内容を考えてほしいということです。夏休みの課題は各学年に応じた1学期の復習が中心ですが、ドリルパークでは1学期だけではなく1年生からの復習もできます。そして、上の学年の問題にもチャレンジすることができます。本をじっくりと読む時間もありますから、調べ学習に取り組む時間もたっぷりあります。あの手塚治虫さんは、売布小からもほど近い自宅付近の山で時間も忘れて昆虫を採集したり、それを精密にスケッチしたりしたと言われています。ただし、暑い時期ですので、外での活動には十分注意しながら行ってほしいと思います。学習だけでなく、今自分が取り組んでいることをより高めていったり、新しいことに挑戦したりするなど、いろいろなことを「やる宣言、やってみる宣言」して、充実した、楽しい夏を過ごしてほしいと思います。

この石碑を紹介するのは、昨年度の夏休み号に引き続き２回目となります。（前任校・前々任校でも紹介していましたが）この写真は西宮市立大社中学校の校門のところに立っている石碑で、「死ぬな　ケガすな　病気すな」と書かれています。この言葉は子どもたちにとっても端的で分かりやすく、長い夏休みだからこそ、改めて子どもたちの心にとどめておいてほしい言葉です。

始業式の８月29日にみんな元気に登校してくることを楽しみにしています。